



令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 セセラギ東条汚泥分配槽設備改築工事

金抜設計書

工事番号 2026065900

工事名 令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 セセラギ東条汚泥分配槽設備改築工事

施工場所 加東市新定659番地（せせらぎ東条）

総括情報表

単価適用年月日	00-08.05.01(0)		
前払区分 契約保証費用 週休2日補正 施設区分(1)	今回 05 35%超え1.00 01 金銭的保証 08 完全週休2日(土日) 06 汚泥処理(電料含まない)	前回	前回

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
設備(諸経費費目)						
機器費						
仮設汚水分配槽 鋼製加工品 SS400	1		基			
[合計] 機器費						
輸送費						
[計] 輸送費			式			工種 第0001号明細表
直接材料費						
補助材料費			式			工種 第0002号明細表
[計] 材料費			式			

工事費内訳書

頁0-0003/0016

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械経費			式			
[計] 直接経費						
一般労務費			式			工種 第0003号明細表
[計] 労務費						
仮設費			式			
[計] 仮設費						
[合計] 直接工事費						
準備費			式			工種 第0004号明細表
共通仮設費 率分			式			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
[計] 共通仮設費						
据付間接費			式			
現場管理費			式			
[合計] 間接工事費						
[合計] 据付工事原価						
設計技術費			式			
[合計] 工事原価						
一般管理費 等			式			
スクラップ控除			式			

輸送費

工種明細表

工種 第0001号明細表

頁0-0006/0016

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費 鋼製加工品	1	式			
合 計		式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
設備機械工 週休2日対象		人			
配管工 週休2日対象		人			
合計		式			

スクラップ控除

工種明細表

工種 第0005号明細表

頁0-0010/0016

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鉄屑 故鉄 B	0.23	t			
合 計		式			

総括情報表

単価適用年月日	00-08.05.01(0)																														
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休2日補正	<table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">今</td> <td style="text-align: center;">回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>下水道</td> <td>(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>補正無し</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>補正なし</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>計上する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>08</td> <td>完全週休2日</td> <td>(土日)</td> <td></td> </tr> </table>		今	回		16	下水道	(3)		26	補正無し			02	補正なし	1.00		01	計上する			08	完全週休2日	(土日)		<table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">前</td> <td style="text-align: center;">回</td> <td></td> </tr> </table>		前	回		
	今	回																													
16	下水道	(3)																													
26	補正無し																														
02	補正なし	1.00																													
01	計上する																														
08	完全週休2日	(土日)																													
	前	回																													

工事費内訳書

頁0-0002/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
処理場・ポンプ場						
コンクリート構造物補修工						
劣化部除去工						
劣化部除去						
劣化部除去工 高圧洗浄(200MPa) 劣化部除去厚5mm【床部】	11		m2			
劣化部除去工 高圧洗浄(200MPa) 劣化部除去厚5mm【壁部】	62		m2			
劣化部除去工 高圧洗浄(200MPa) 劣化部除去厚5mm【天井部】	7		m2			
排水処理工	1		式			

工事費内訳書

頁0-0003/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
汚泥運搬処分						施工 第0 -0002号内訳表
	1		式			
断面修復工						
断面修復工						
断面修復工 修復厚5mm 【床部】						
	11		m2			
断面修復工 修復厚5mm 【壁部】						
	62		m2			
断面修復工 修復厚5mm 【天井部】						
	7		m2			
防食工						
防食被覆工						
防食被覆工 塗布型ライニング工法_D種 【床部】						
	11		m2			

工事費内訳書

頁0-0004/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
防食被覆工 塗布型ライニング工法_D種 【壁部】						
	62		m2			
防食被覆工 塗布型ライニング工法_D種 【天井部】						
	7		m2			
覆蓋撤去更新蓋						
蓋板撤去工 合成木材蓋						
	1		式			施工 第0 -0005号内訳表
蓋板撤去工 マンホール蓋						
	1		式			施工 第0 -0007号内訳表
コンクリートカット工 Co舗装版厚->15cm以下						
	6		m			施工 第0 -0009号内訳表
コンクリートカット工 Co舗装版厚->15cmを超え30cm以下						
	24		m			施工 第0 -0010号内訳表
構造物とりこわし工；[人力施工] 鉄筋構造物						
	0.4		m3			施工 第0 -0011号内訳表
殻運搬・処分						
	1		式			施工 第0 -0012号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃プラ運搬処分						施工 第0 -0015号内訳表
	1		式			
覆蓋設置						
合成木材蓋設置工 受枠・合成木材蓋設置						施工 第0 -0019号内訳表
	1		式			
FRP製マンホール蓋設置工						施工 第0 -0020号内訳表
	1		式			
無収縮モルタル工 耐硫酸性						施工 第0 -0021号内訳表
	0.4		m3			
合成木材蓋 FFU-1						
	4		枚			
合成木材蓋 FFU-2						
	2		枚			
合成木材蓋 FFU-3						
	1		枚			
受枠(アンカー含む) L=4320 受枠 (SUS304) _アンカー (SS400)						
	4		個			

工事費内訳書

頁0-0006/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
受枠(アンカー含む) L=1920 受枠 (SUS304) _アンカー (SS400)						
	1		個			
FRP製マンホール蓋 φ 600						
	2		組			
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			

積算単価算出表

コンクリートカット工
[規格1] Co舗装版厚->15cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0009号内訳表

頁0-0016/0030

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R3	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R							
Z1	コンクリートカッタ(フﾟレード) 径18インチ			舗装版切断 カッターフﾟレード 径18インチ			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別	=2	コンクリート舗装版				
C	コンクリート舗装版厚	=1	15cm以下				

積算単価算出表

コンクリートカット工

[規格1] Co舗装版厚->15cmを超え30cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0010号内訳表

頁0-0017/0030

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	コンクリートカッタ 切削深30cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 30cm級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R3	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R							
Z1	コンクリートカッタ(フﾟレード) 径30インチ			舗道版切断 カッターフﾟレード 径30インチ			
Z2	コンクリートカッタ(フﾟレード) 径22インチ			舗道版切断 カッターフﾟレード 径22インチ			
Z3	コンクリートカッタ(フﾟレード) 径14インチ			舗装版切断 カッターフﾟレード 径14インチ			
Z4	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
本工事費					
処理場・ポンプ場					
コンクリート構造物補修工					
劣化部除去工					
劣化部除去					
劣化部除去工	高压洗浄(200MPa)	m2		11	
劣化部除去工	高压洗浄(200MPa)	m2		62	
劣化部除去工	高压洗浄(200MPa)	m2		7	
排水処理工		式		1	
汚泥運搬処分		式		1	
断面修復工					
断面修復工					
断面修復工	修復厚5mm	m2		11	
断面修復工	修復厚5mm	m2		62	
断面修復工	修復厚5mm	m2		7	
防食工					
防食被覆工					
防食被覆工	塗布型ライニング工法_D種	m2		11	

契約数量表

頁0-0002/0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
防食被覆工	塗布型ライニング工法_D種	m2		62	
防食被覆工	塗布型ライニング工法_D種	m2		7	
覆蓋撤去更新蓋					
蓋板撤去工	合成木材蓋	式		1	
蓋板撤去工	マンホール蓋	式		1	
コンクリートカット工	Co舗装版厚->15cm以下	m		6	
コンクリートカット工	Co舗装版厚->15cmを超え30cm以下	m		24	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		0.4	
殻運搬・処分		式		1	
廃プラ運搬処分		式		1	
覆蓋設置					
合成木材蓋設置工	受枠・合成木材蓋設置	式		1	
FRP製マンホール蓋設置工		式		1	
無収縮モルタル工	耐硫酸性	m3		0.4	
合成木材蓋	FFU-1	枚		4	
合成木材蓋	FFU-2	枚		2	
合成木材蓋	FFU-3	枚		1	
受枠(アンカー含む)	L=4320	個		4	

令和 8 年度

社会資本整備総合交付金事業
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事

数量計算書

加東市

数量総括表

令和7年度 社会資本整備総合交付金事業 せせらぎ東条 分配槽設備改築工事

種別・名称	規格・寸法	数量	単位	備考
鋼製加工品（仮設）		1	式	
鋼製加工品	SS400 228.88kg/基	1	式	
小配管（仮設）		1	式	
塩化ビニル管	VU φ 250	3.34	m	
塩化ビニル管	VU φ 350	17.3	m	
サクションホース	φ 150	17.9	m	
一般労務（仮設）		1	式	
設備機械工			人	
配管工			人	
建設廃棄物	廃プラスチック類・運搬共 廃プラスチック 2.38 m ³	1	式	0.42 t
スクラップ	鉄屑・運搬共	0.23	t	
内部防食		1	式	
劣化部除去工	超高压洗浄（200MPa） 劣化部除去厚5mm【床部】	11	m ²	
劣化部除去工	超高压洗浄（200MPa） 劣化部除去厚5mm【壁部】	62	m ²	
劣化部除去工	超高压洗浄（200MPa） 劣化部除去厚5mm【天井部】	7	m ²	
排水処理工		1	式	
污水吸排車運搬工		10	m ³	
汚泥処分費		1	式	14 t
断面修復工	補修厚 5mm【床部】	11	m ²	
断面修復工	補修厚 5mm【壁部】	62	m ²	
断面修復工	補修厚 5mm【天井部】	7	m ²	
防食被覆工	D種塗布型ライニング工法 【床部】	11	m ²	
防食被覆工	D種塗布型ライニング工法 【壁部】	62	m ²	
防食被覆工	D種塗布型ライニング工法 【天井部】	7	m ²	

数量集計表

せせらぎ東条【仮設】

補助率区分:高率

項目	名称	仕様	設計数量	集計数量	単位	備考
鋼製加工品 (仮設)	鋼製加工品	SS400 228.88kg/基	1	1	基	
小配管 (仮設)	塩化ビニル管	VU φ 250	3.34	3.34	m	
	付属材料		1	1	式	
	塩化ビニル管	VU φ 350	17.3	17.3	m	
	付属材料		1	1	式	
	サクシオンホース	φ 150	17.9	17.9	m	
	付属材料		1	1	式	
一般労務 (仮設)	設備機械工				人	
	配管工				人	
準備費(積み上げ) (撤去)	建設廃棄物処理	廃プラスチック類・運搬共 廃プラスチック 2.38 m ³	0.42	0.421	t	
スクラップ	鉄屑・運搬共		0.23	0.229	t	

小配管材料・据付集計表

せせらぎ東条【撤去】

補助率区分:高率

管種 呼び径	材料及び据付 配管場所	補完率 付属材料率	スケルトンNo.							数量合計 m	数量合計 × 補完率	処分 材質	単位 重量 J	建設廃棄物 (kg)		スクラップ (kg)		
			25	26	10									廃プラスチック		鉄屑	ステンレス屑	銅屑
ステンレス鋼管 SUS Sch20s 350A (一時撤去)	材料	1.00																
		-				1.290												
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用				1.290				1.290	1.290							
塩化ビニル管 VU φ250	材料	1.00																
		-		3.340						3.340	3.340	廃プラスチック	9.758	32.592				
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用				3.340				3.340	3.340							
塩化ビニル管 VU φ350	材料	1.00																
		-		17.300						17.300	17.300	廃プラスチック	18.051	312.282				
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用				17.300				17.300	17.300							
	材料	1.00																
		-																
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用																
サクシオン ホース φ150	材料	1.00																
		-				17.900				17.900	17.900	廃プラスチック	4.280	76.612				
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用				17.900				17.900	17.900							

小配管材料・据付集計表

せせらぎ東条【撤去】

補助率区分:高率

管種 呼び径	材料及び 据付	補完率 付属材料率 配管場所	スケルトンNo.							数量合計 m	数量合計 × 補完率	処分 材質	単位 重量 J	建設廃棄物 (kg)		スクラップ (kg)		
			25	26	10									廃プラスチック		鉄屑	ステンレス屑	銅屑
	材料	1.10																
		-																
	据付	給水用(屋内)																
		給水用(屋外) 埋設配管 排水通気用																
	材料	1.10																
		-																
	据付	給水用(屋内)																
		給水用(屋外) 埋設配管 排水通気用																
	材料	1.10																
		-																
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用																
	材料	1.10																
		-																
	据付	屋内配管																
		屋外配管 埋設配管 排水通気用																
計 (kg)													計 (kg)	421.486				
計 (t)													計 (t)	0.421				

■廃プラスチック搬出数量 (m³)

※廃プラスチックm換算根拠より

VU φ 250

0.12 m³

VU φ 350

1.86 m³

サクシヨンホース φ 150

0.40 m³

合計

2.38 m³

■ 廃プラスチック m^3 換算根拠

【VU ϕ 250】

・ 単位重量	9.758 kg/m
・ 外径	216 mm
・ 占有面積	0.0366 m^2
・ m^3 あたり本数	27.32 本(m)/ m^3
・ m^3 あたり質量	0.27 t/ m^3
・ 廃棄延長	3.34 m
・ 廃棄数量	0.12 m^3

【VU ϕ 350】

・ 単位重量	18.051 kg/m
・ 外径	370 mm
・ 占有面積	0.1075 m^2
・ m^3 あたり本数	9.3 本(m)/ m^3
・ m^3 あたり質量	0.17 t/ m^3
・ 廃棄延長	17.3 m
・ 廃棄数量	1.86 m^3

【サクシヨンホース ϕ 150】

・ 単位重量	4.28 kg/m
・ 外径	168.6 mm
・ 占有面積	0.0223 m^2
・ m^3 あたり本数	44.84 本(m)/ m^3
・ m^3 あたり質量	0.19 t/ m^3
・ 廃棄延長	17.9 m
・ 廃棄数量	0.4 m^3

鑄鉄管 (350φ以下) 集計表 (/)

(標準)

(一時撤去)

口 径 (mm φ)	区 分		解 析 単 位 重 量 (W ₀)					鑄 鉄 管 総 重 量 ΣW			布 設 工		全長に対するメカ直管の単位重量 W _M			異 形 管 率 α				備 考	
	屋 外 露 出	水 中	口 径 別 配 管 長 L (m)	異形管 個 数 x (個)	m当たり 異形管個数 X = x / L (個/m)	定 数 a	定 数 b	W ₀ = a * X + b (kg/m)	鑄 鉄 管 重 量 W = W ₀ * L / 1000 (t)	弁 類 重 量 (t)	Σ x = W + 弁重量 (t)	配 管 歩 掛 り (人 / t)	配 管 工 (人)	直 管 本 数 n (本)	定 尺 重 量 m (kg / 本)	W _M = n * m / L (kg / m)	定 数	定 数	定 数		α
																	a	b	c		= a * X ² + b * X + C
75	○					8.0	15.8								52.1		-0.27	1.04	0.04		
100	○					12.0	18.1								67.0		-0.20	0.88	0.03		
150	○		0.600	1	1.667	12.6	31.5	52.504	0.032		0.032				119.0		-0.24	0.96	0.08	1.013 材料は再利用	
200	○					18.1	46.0								157.0		-0.22	0.89	0.10		
250	○					21.9	60.4								195.0		-0.30	1.12	0.04		
300	○					55.6	63.0								301.0		-0.50	1.46	-0.03		
350	○					75.5	79.1								351.0		-0.56	1.45	0.02		
75		○				8.5	14.8								52.1		-0.27	1.04	0.04		
100		○				13.1	15.5								67.0		-0.20	0.88	0.03		
150		○				14.6	27.9								119.0		-0.24	0.96	0.08		
200		○				20.1	41.4								157.0		-0.22	0.89	0.10		
250		○				25.5	54.1								195.0		-0.30	1.12	0.04		
300		○				65.3	49.7								301.0		-0.50	1.46	-0.03		
350		○				84.3	65.2								351.0		-0.56	1.45	0.02		
[A] 計																					

	[A]	[B]	[C]		合 計
配管工					

- 注) (1) X, W₀, αは有効数字3桁, 小数点以下第2位以内とし, 次の位を四捨五入とする。
 (2) L, 鑄鉄管弁類重量 (t表示), W₀及び配管布設工は, 小数点以下第2位までとし, 次の位を切り捨てとする。
 (3) 異形管率αの計算値が0以下の場合α = 0, 1以上の場合α = 1とする。

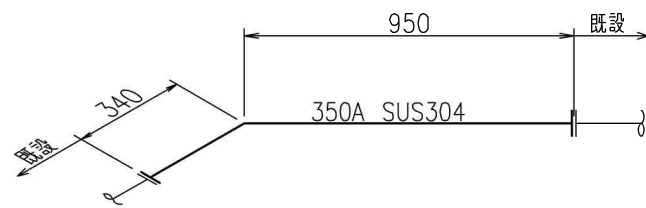
鑄鉄管 (350φ以下) 集計表 (/)

(標準)

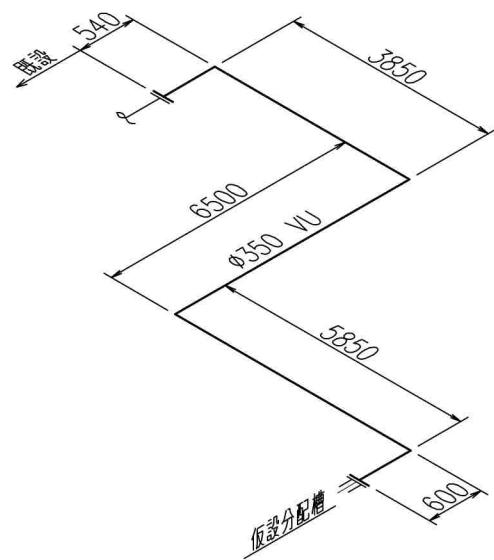
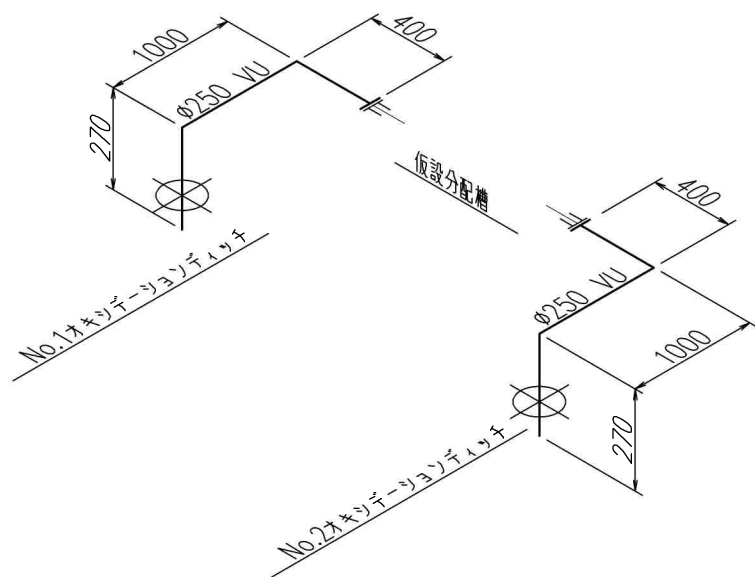
口 径 (mm φ)	区 分		解 析 単 位 重 量 (W ₀)					鑄 鉄 管 総 重 量 ΣW			布 設 工		全長に対するメカ直管の単位重量 W _M			異 形 管 率 α				備 考	
	屋 外 露 出	水 中	口 径 別 配 管 長 L (m)	異形管 個 数 x (個)	m当たり 異形管個数 X = x / L (個/m)	定 数 a	定 数 b	W ₀ = a * X + b (kg/m)	鑄 鉄 管 重 量 W=W ₀ *L/1000 (t)	弁 類 重 量 (t)	Σ x =W+弁重量 (t)	配 管 歩 掛 り (人 / t)	配 管 工 (人)	直 管 本 数 n (本)	定尺重量 m (kg/本)	W _M = n * m / L (kg/m)	定 数 a	定 数 b	定 数 c		α =a*X ² +b*X+C
75	○					8.0	15.8								52.1		-0.27	1.04	0.04		
100	○					12.0	18.1								67.0		-0.20	0.88	0.03		
150	○		0.600	1	1.667	12.6	31.5	52.504	0.032	0.032					119.0		-0.24	0.96	0.08	1.013 材料は再利用	
200	○					18.1	46.0								157.0		-0.22	0.89	0.10		
250	○					21.9	60.4								195.0		-0.30	1.12	0.04		
300	○					55.6	63.0								301.0		-0.50	1.46	-0.03		
350	○					75.5	79.1								351.0		-0.56	1.45	0.02		
75		○				8.5	14.8								52.1		-0.27	1.04	0.04		
100		○				13.1	15.5								67.0		-0.20	0.88	0.03		
150		○				14.6	27.9								119.0		-0.24	0.96	0.08		
200		○				20.1	41.4								157.0		-0.22	0.89	0.10		
250		○				25.5	54.1								195.0		-0.30	1.12	0.04		
300		○				65.3	49.7								301.0		-0.50	1.46	-0.03		
350		○				84.3	65.2								351.0		-0.56	1.45	0.02		
[A] 計																					

	[A]	[B]	[C]		合 計
配管工					

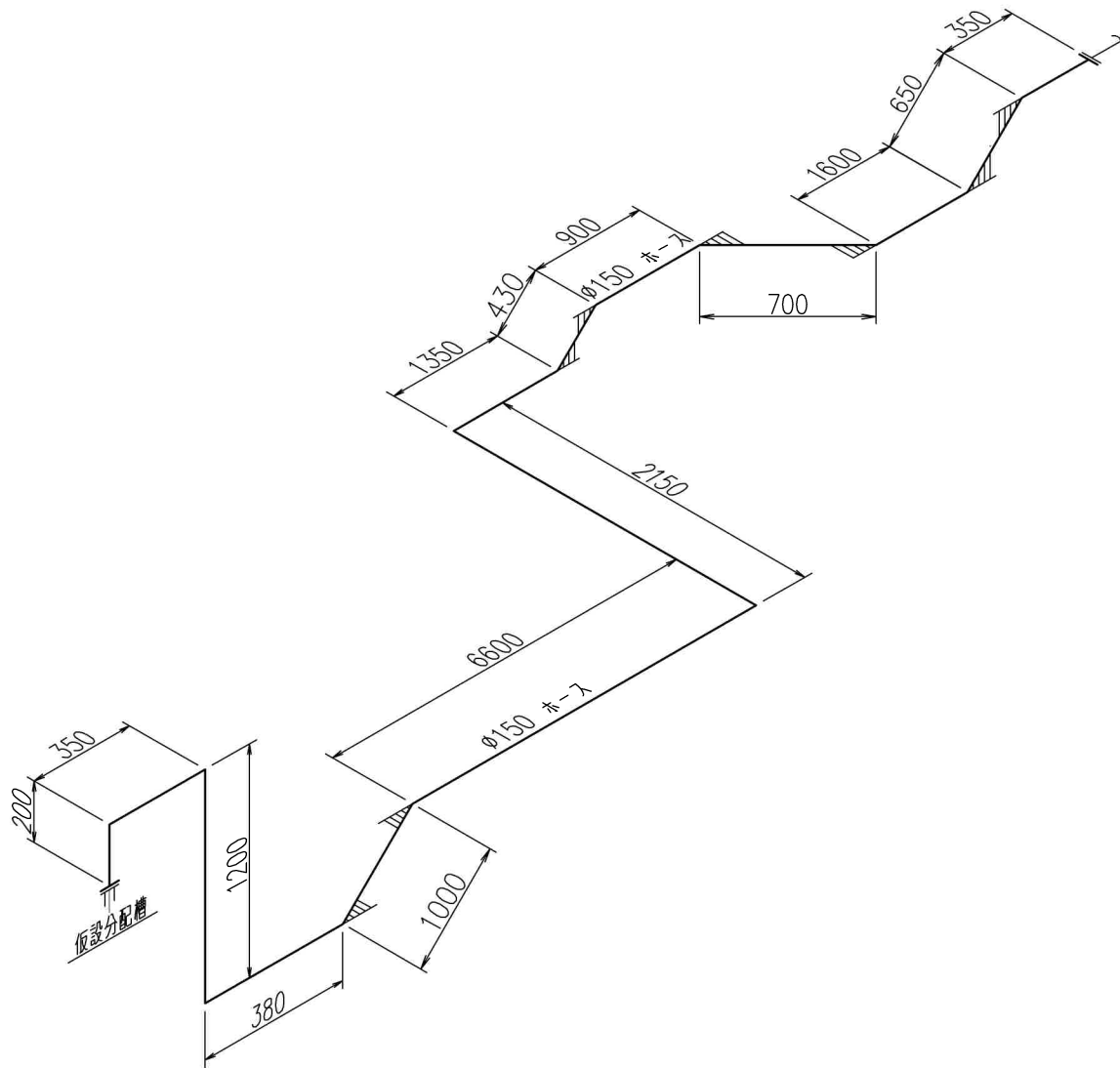
- 注) (1) X, W₀, αは有効数字3桁, 小数点以下第2位以内とし, 次の位を四捨五入とする。
 (2) L, 鑄鉄管弁類重量 (t表示), W₀及び配管布設工は, 小数点以下第2位までとし, 次の位を切り捨てとする。
 (3) 異形管率αの計算値が0以下の場合α=0, 1以上の場合α=1とする。



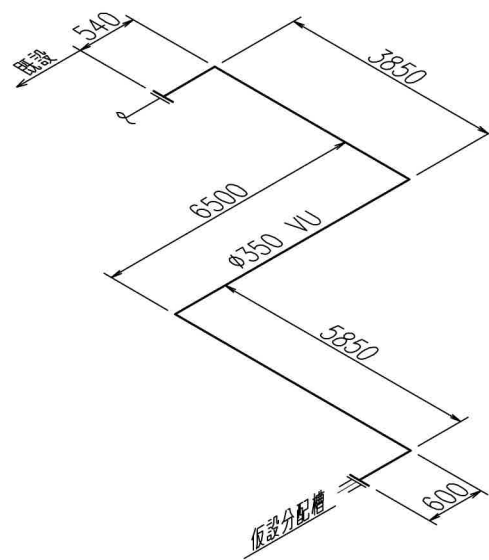
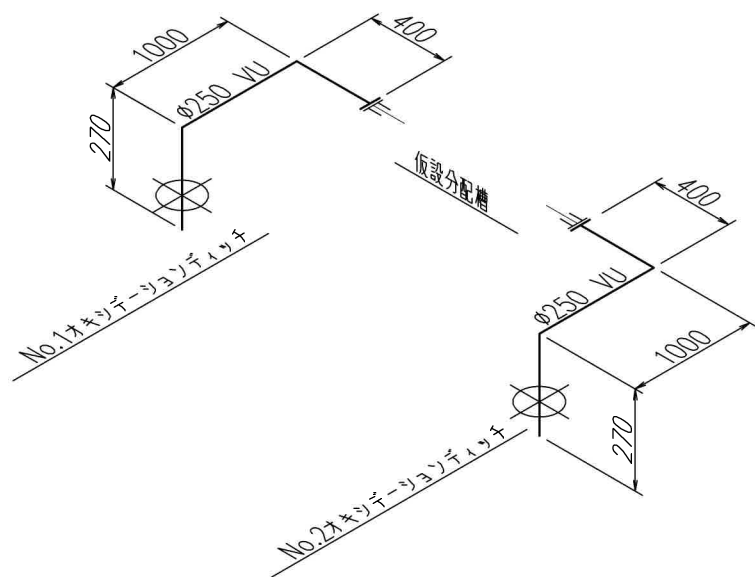
スケルトンNo.10
No.2スクリーンユニット流出管
(一時撤去・復旧)



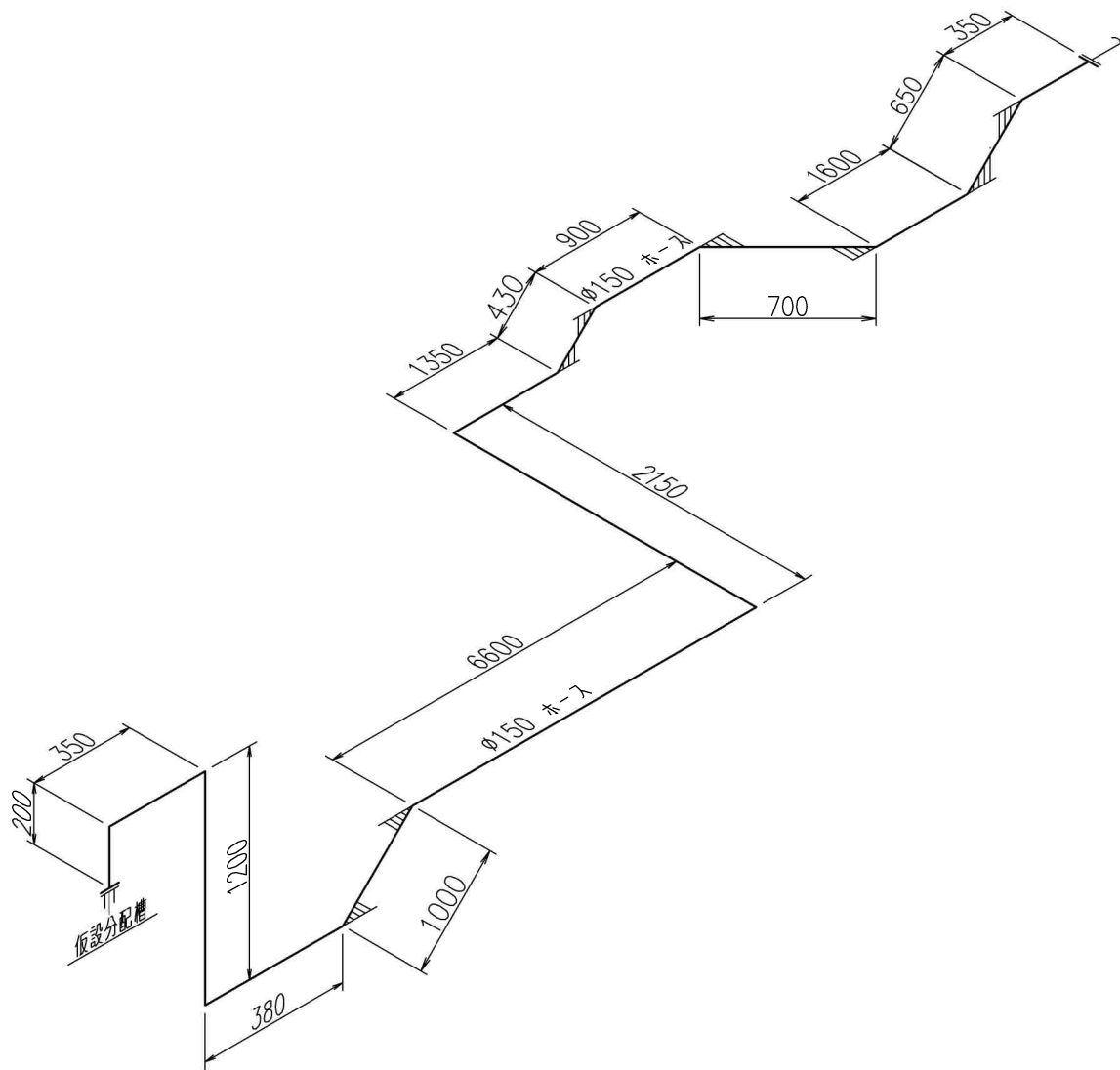
スケルトンNo.15
 No.2スクリーンユニット流出管
 (仮設)



スケルトンNo.16
 返流水管
 (仮設)



スケルトンNo.25
 No.2スクリーンユニット流出管
 (仮設撤去)



スケルトンNo.26

返流水管
 (仮設撤去)

土 木 工 事

数量集計表

名称	形状寸法	単位	数量	備考
劣化部除去工	超高压洗浄（200MPa）劣化部除去厚5mm 【床部】	m ²	11	
	超高压洗浄（200MPa）劣化部除去厚5mm 【壁部】	m ²	62	
	超高压洗浄（200MPa）劣化部除去厚5mm 【天井部】	m ²	7	
排水処理工		式	1	
汚泥吸排車運搬工		m ³	10	
汚泥処分費		式	1	14 t
断面修復工	修復厚5mm 【床部】	m ²	11	
	修復厚5mm 【壁部】	m ²	62	
	修復厚5mm 【天井部】	m ²	7	
防食被覆工	D種塗布型ライニング工法 【床部】	m ²	11	
	D種塗布型ライニング工法 【壁部】	m ²	62	
	D種塗布型ライニング工法 【天井部】	m ²	7	
蓋版撤去工	合成木材蓋	式	1	
	マンホール蓋	式	1	
コンクリートカット工	15cm 以下	m	6	
	15cmを超え30cm 以下	m	24	
構造物取壊し工	鉄筋コンクリート 人力	m ³	0.4	
殻運搬工	鉄筋コンクリート	m ³	0.4	
殻処分費	鉄筋コンクリート	t	1.0	
廃プラ処分費	1t/m ³	m ³	0.34	
金属くず処分費		t	0.1	(スクラップ)
合成木材蓋設置工		式	1	0.12 t
FRP製マンホール蓋設置工		式	1	0.03 t
無収縮モルタル工	耐硫酸性	m ³	0.4	

数量計算書【内部防食】

名称	形状寸法	算式	集計数量	単位	設計数量
劣化部除去工	超高压洗浄 (200MPa) 劣化部除去厚5mm				
	【床部】				
	底版A	$A = 3.2 \times 1.5$	4.80	m ²	
	底版B	$A = 2.6 \times 1.2$	3.12	m ²	
	底版C	$A = 0.8 \times 1.2 \times 4$	3.84	m ²	
	合計	A=	11.76	m ²	11.0
	【壁部】				
	A壁	$A = 1.85 \times 9.4$	17.39	m ²	
	▼控除 (開口)	$A = -(0.60 \times 1.15 + 1.2 \times 0.5)$	-1.29	m ²	
	B壁	$A = 1.85 \times 7.6$	14.06	m ²	
	▼控除 (開口)	$A = -(0.4 \times 0.6 \times 4 + 1.15 \times 0.6 + 0.5 \times 1.2)$	-2.25	m ²	
	C壁	$A = 2.05 \times 4.0 \times 2$	16.40	m ²	
	▼控除 (開口)	$A = -(\pi \times 0.35^2 / 4 + 0.4 \times 0.6) \times 2$	-0.67	m ²	
	D壁	$A = 2.05 \times 4.0 \times 2$	16.40	m ²	
	▼控除 (開口)	$A = -(0.4 \times 0.6) \times 2$	-0.48	m ²	
	開口A	$A = 0.2 \times 1.15 \times 2 + 0.6 \times 0.2$	0.58	m ²	
	開口B	$A = (0.2 \times 0.4 \times 2 + 0.6 \times 0.2 \times 2) \times 4$	1.60	m ²	
	開口C	$A = 0.5 \times 0.2 \times 2 + 1.2 \times 0.2 \times 2$	0.68	m ²	
	合計	A=	62.42	m ²	62.0
	【天井部】				
	スラブA	$A = 3.2 \times 1.5$	4.80	m ²	
	▼控除 (配管・開口)	$A = -(\pi / 4 \times (0.6^2 + 0.35^2 \times 2 + 0.3^2 + 0.15^2 + 0.1^2 \times 3))$	-0.59	m ²	
	スラブB	$A = 2.6 \times 1.2$	3.12	m ²	
	▼控除 (開口)	$A = -(\pi \times 0.6^2 / 4)$	-0.28	m ²	
	合計	A=	7.05	m ²	7.0
排水処理工		$A = 11 + 62 + 7$	80.00	m ²	
			1.00	式	1.0
汚泥吸排車運搬工	積算根拠より	W=	10.00	m ³	10.0
汚泥処分費	汚泥 : 1.4t/m ³	W= 10 × 1.4	14.00	t	14.0

数量計算書【内部防食】

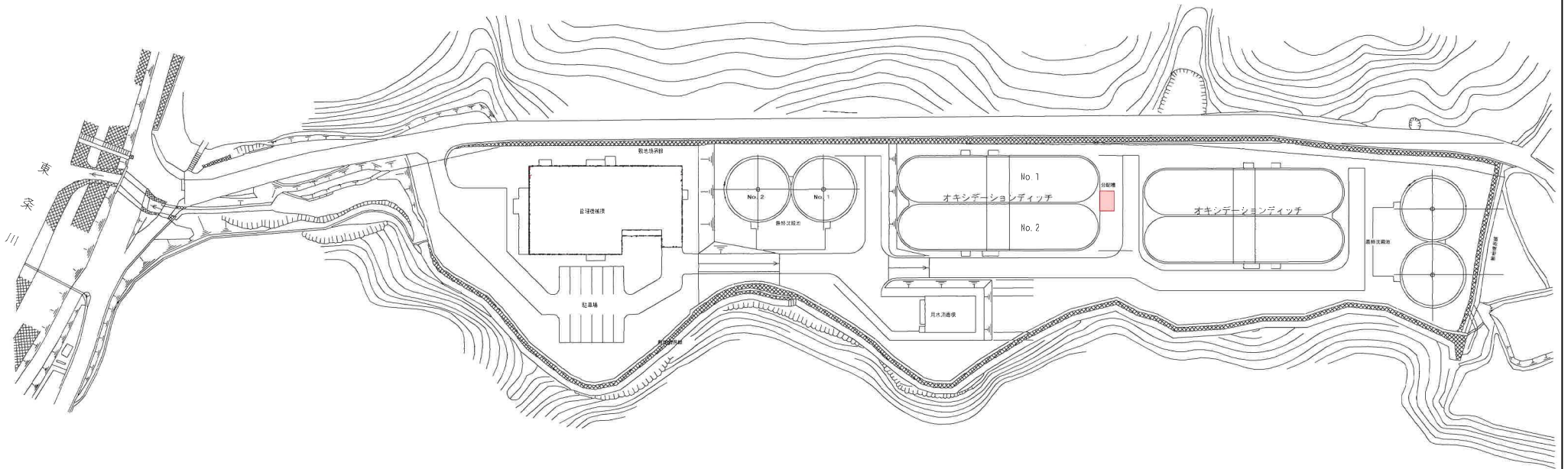
名 称	形 状 寸 法	算 式	集計数量	単位	設計数量
断面修復工	修復厚5mm				
	【床部】 劣化部除去数量より	A=	11.00	m2	11.0
	【壁部】 劣化部除去数量より	A=	62.00	m2	62.0
防食被覆工	D種				
	塗布型ライニング工法				
	【床部】 劣化部除去数量より	A=	11.00	m2	11.0
	【壁部】 劣化部除去数量より	A=	62.00	m2	62.0
	【天井部】 劣化部除去数量より	A=	7.00	m2	7.0

数量計算書【内部防食】

名 称	形 状 寸 法	算 式	集計数量	単位	設計数量
覆蓋撤去 蓋版撤去工	合成木材蓋	40kg/枚 N= 9	9.00	式 枚	1.0
	マンホール蓋	40kgを超え170kg/枚以下 N= 2	2.00	式 枚	1.0
コンクリートカット工	15cm 以下	$L = (0.6 + 1.28 \times 2) \times 2$ 【小型角落し部】	6.32	m	6.0
	15cmを超え30cm 以下	$L = (1.13 + 2.93) \times 2 + (0.93 + 0.53) \times 2 + (0.93 + 0.93) \times 2 + 1.13 + 2.93 + 1.93 + 0.93 + 0.80 + 2.00$ 【マンホール、合成木材製蓋部】	24.48	m	24.0
構造物取壊し工	鉄筋コンクリート 人力	$V = (1.13 \times 2.93 + 0.93 \times 0.53 + 1.13 \times 2.93 + 0.8 \times 0.93 + 0.93 \times 0.93) \times 0.165 + (1.28 \times 0.09 \times 2 + 0.6 \times 0.09) \times 0.14$	1.48	m ³	
	▼控除 (蓋)	$V = -(0.93 \times 1.33 \times 0.07 \times 4 + 0.73 \times 0.33 \times 0.07 + \pi \times 0.71^2 / 4 \times 0.05 \times 2)$	-0.40	m ³	
	▼控除 (開口)	$V = -(0.80 \times 1.20 \times 0.13 \times 4 + 0.60 \times 0.20 \times 0.13 + \pi \times 0.60^2 / 4 \times 0.15 \times 2)$	-0.60	m ³	
	合計	V=	0.48	m ³	0.4
殻運搬工	鉄筋コンクリート	V=	0.40	m ³	0.4
殻処分費	2.5t/m ³	W= 0.4 × 2.5	1.00	t	1.00
廃プラ処分費	合成木材蓋	V= 0.465 × 0.93 × 0.07 × 8 + 0.73 × 0.33 × 0.07	0.26	m ³	
	角落し	V= 0.65 × 0.50 × 0.25	0.08	m ³	
	合計	V=	0.34	m ³	0.34
金属くず処分費	マンホール蓋 45kg/枚	W= 45 × 2 / 1000	0.09	t	0.10

数量計算書【内部防食】

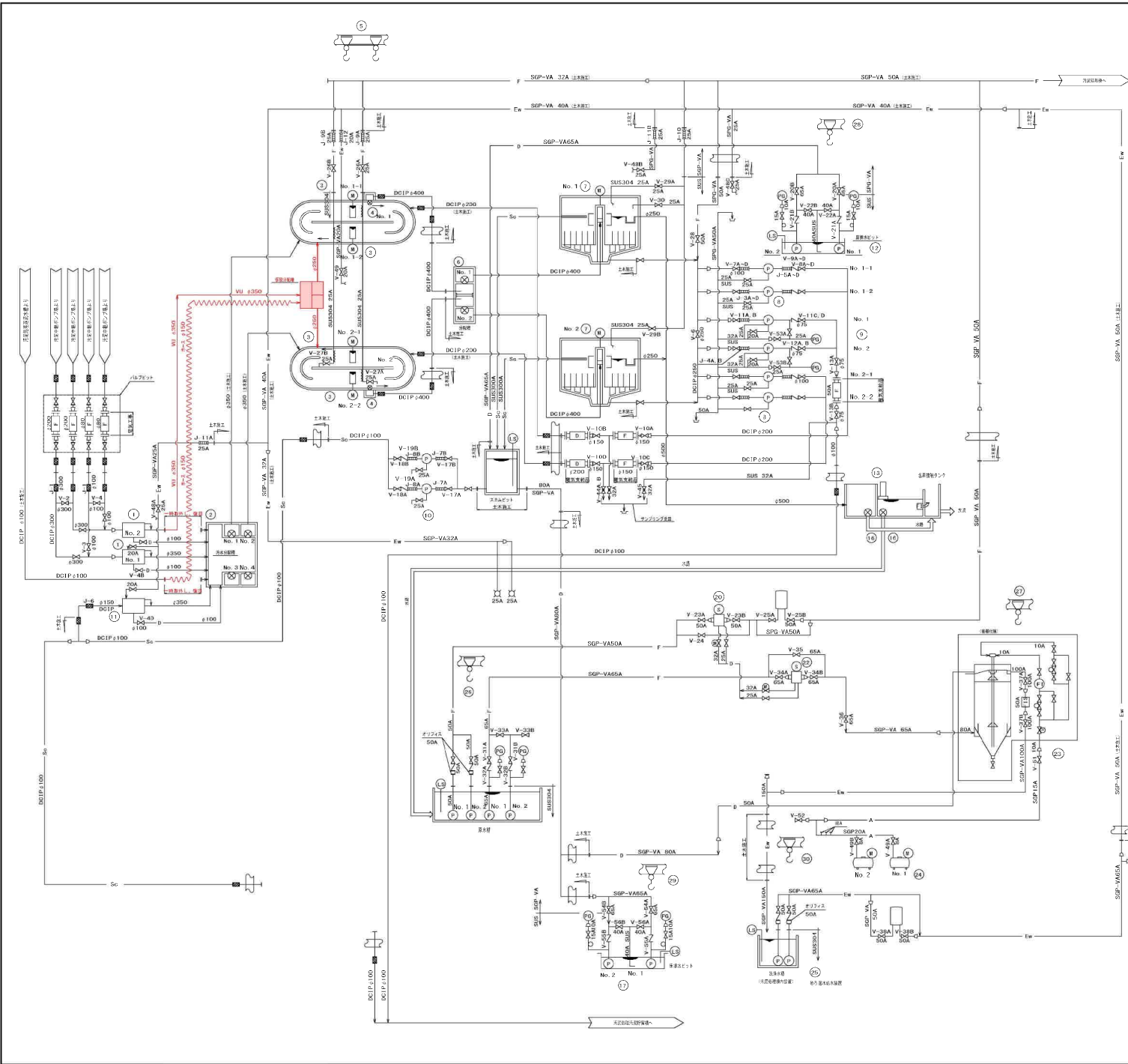
名 称	形 状 寸 法	算 式	集計数量	単 位	設計数量
覆盖設置 合成木材蓋設置工	受枠 合成木材蓋 合計	$(L-40 \times 40 \times 3 : 1.83\text{kg/m})$ $t = (4.32 \times 4 + 1.92) \times 1.83 / 1000$ (FFU-1 : 8kg/枚 FFU-2 : 24kg/枚 FFU-3 : 4kg/枚) $t = (8 \times 4 + 24 \times 2 + 4) / 1000$ $t =$	0.04 0.08 0.12	t t t	0.12
FRP製マンホール蓋設置工		(受枠 : 6.2kg 蓋 : 10.1kg) $t = (6.2 + 10.1) \times 2 / 1000$	0.03	t	0.03
無収縮モルタル工	耐硫酸性	V=	0.40	m ³	0.4
合成木材蓋	FFU-1	N= 4	4.00	枚	4.0
	FFU-2	N= 2	2.00	枚	2.0
	FFU-3	N= 1	1.00	枚	1.0
受枠 (アンカー含)	L=4320	N= 4	4.00	箇所	4.0
	L=1920	N= 1	1.00	箇所	1.0
FRP製マンホール蓋	φ 600	N= 2	2.00	組	2.0



一般平面図

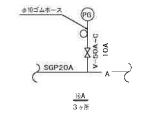
注記: 赤色が今回施工範囲を示す。

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	一般平面図	図面番号 1
尺度	1/500	14
加東市		



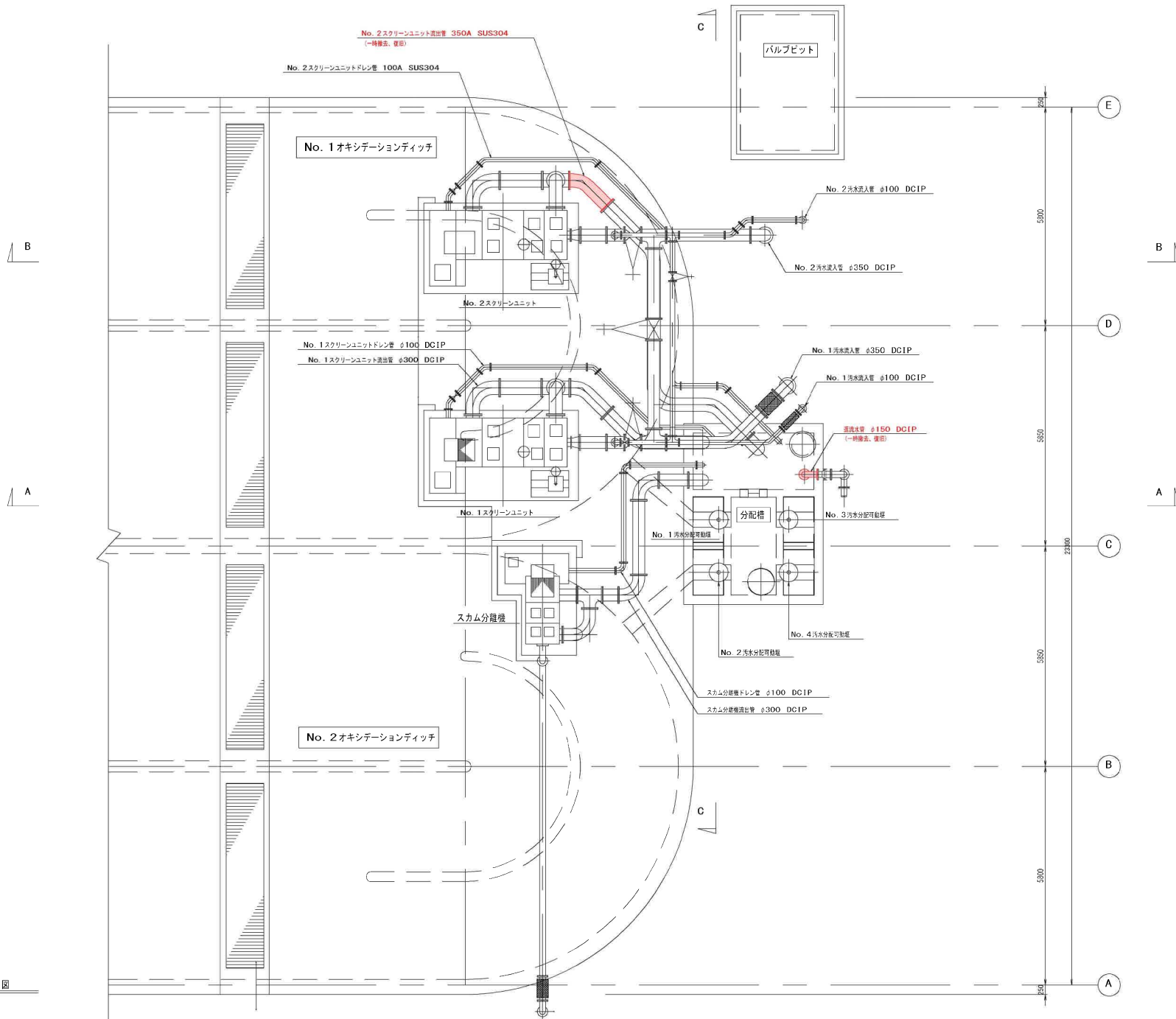
記号	名称	記号	名称	記号	名称
—○—	汎用電線	—□—	接地線	—F—	電線管
—●—	配管	—○—	接地線	—H—	接地
—F—	汎用電線	—□—	接地線	—C—	ケーブル
—Ew—	導線	—○—	接地線	—D—	ケーブル
—Sg—	導線	—○—	接地線	—C—	ケーブル
—Av—	導線	—○—	接地線	—C—	ケーブル
—A—	導線	—○—	接地線	—C—	ケーブル
—D—	導線	—○—	接地線	—C—	ケーブル
—C—	導線	—○—	接地線	—C—	ケーブル
—	導線	—○—	接地線	—C—	ケーブル

番号	記号	名称	数量	単位	規格	備注	数量	単位	規格
1	2	0	2	0	2	0	2	0	2
2	4	0	4	0	4	0	4	0	4
3	2	0	2	0	2	0	2	0	2
4	2	0	2	0	2	0	2	0	2
5	2	0	2	0	2	0	2	0	2
6	2	0	2	0	2	0	2	0	2
7	2	0	2	0	2	0	2	0	2
8	4	0	4	0	4	0	4	0	4
9	2	0	2	0	2	0	2	0	2
10	2	0	2	0	2	0	2	0	2
11	1	0	1	0	1	0	1	0	1
12	2	0	2	0	2	0	2	0	2
13	1	0	1	0	1	0	1	0	1
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	1	0	1	0	1	0	1	0	1
16	2	0	2	0	2	0	2	0	2
17	1	0	1	0	1	0	1	0	1
18	1	0	1	0	1	0	1	0	1
19	1	0	1	0	1	0	1	0	1
20	5	0	5	0	5	0	5	0	5
21	1	0	1	0	1	0	1	0	1
22	1	0	1	0	1	0	1	0	1
23	2	0	2	0	2	0	2	0	2
24	1	0	1	0	1	0	1	0	1
25	1	0	1	0	1	0	1	0	1
26	1	0	1	0	1	0	1	0	1
27	1	0	1	0	1	0	1	0	1
28	1	0	1	0	1	0	1	0	1
29	1	0	1	0	1	0	1	0	1



注記: 赤色が今回施工範囲を示す。

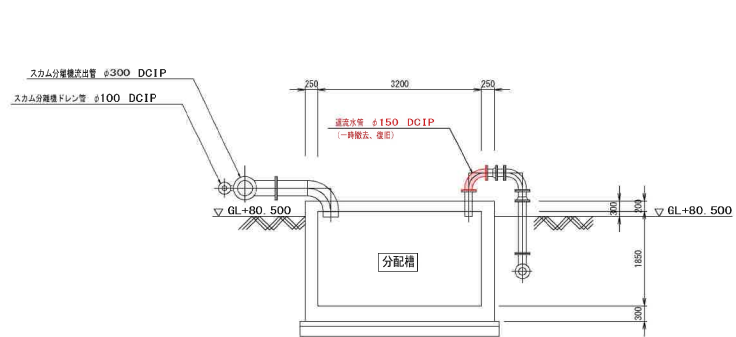
令和8年度 社会資本整備総合交付金事業			
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改善工事			
加東市 新定 659 番地 (せせらぎ東条)			
図面名	水処理設備フローシート	図面番号	2
尺度	NON		14
加東市			



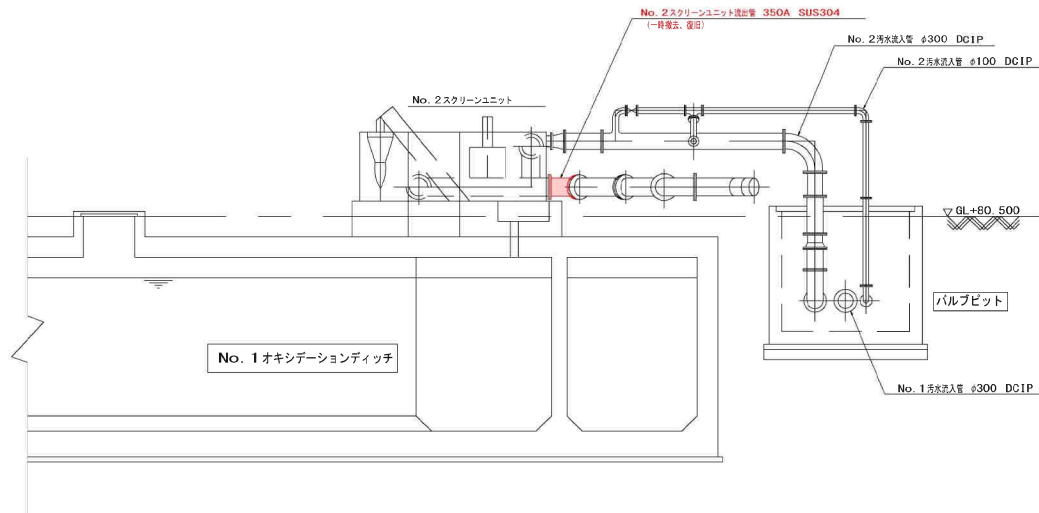
平面図

注記：赤色 が今回施工範囲を示す。

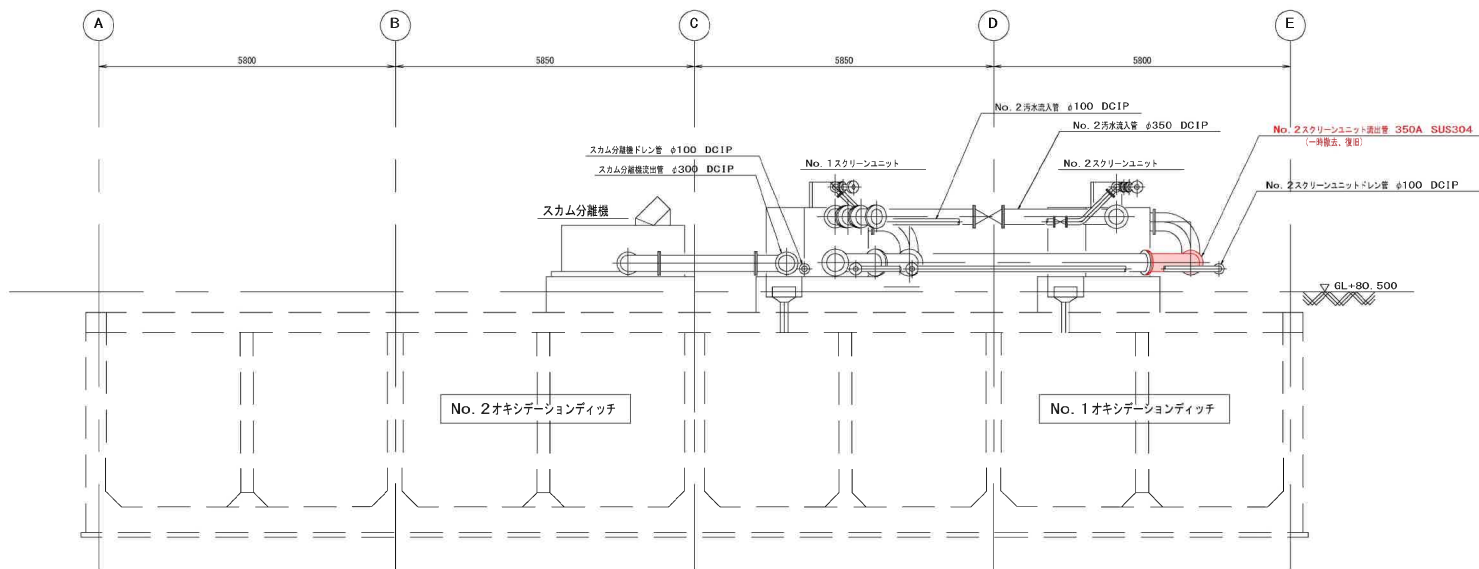
令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改善工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	分配槽平面図(一時除去・復旧)	図面番号
尺度	1/50	3 / 14
加東市		



A - A 断面図



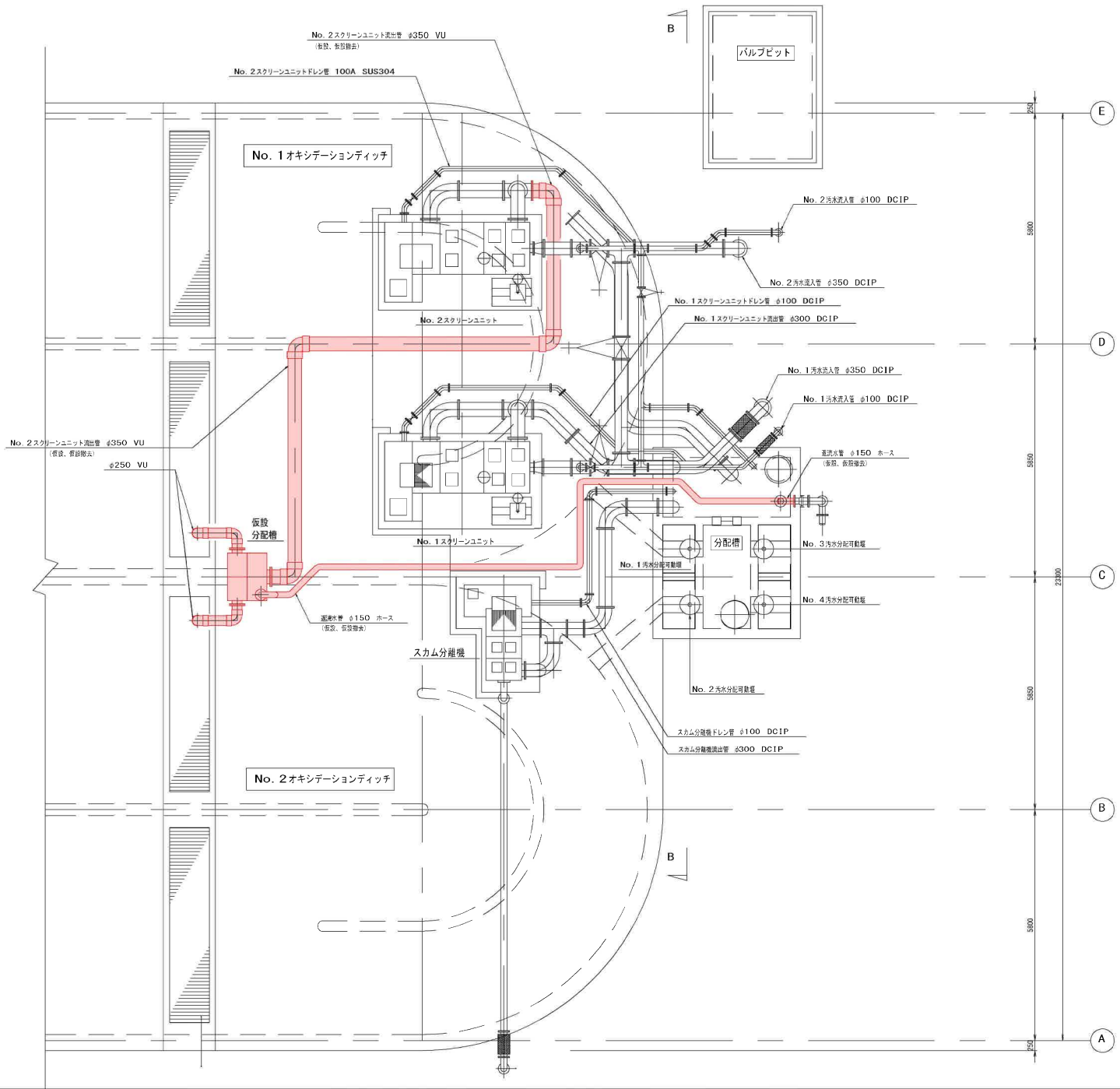
B - B 断面図



C - C 断面図

注記： 赤色が今回施工範囲を示す。

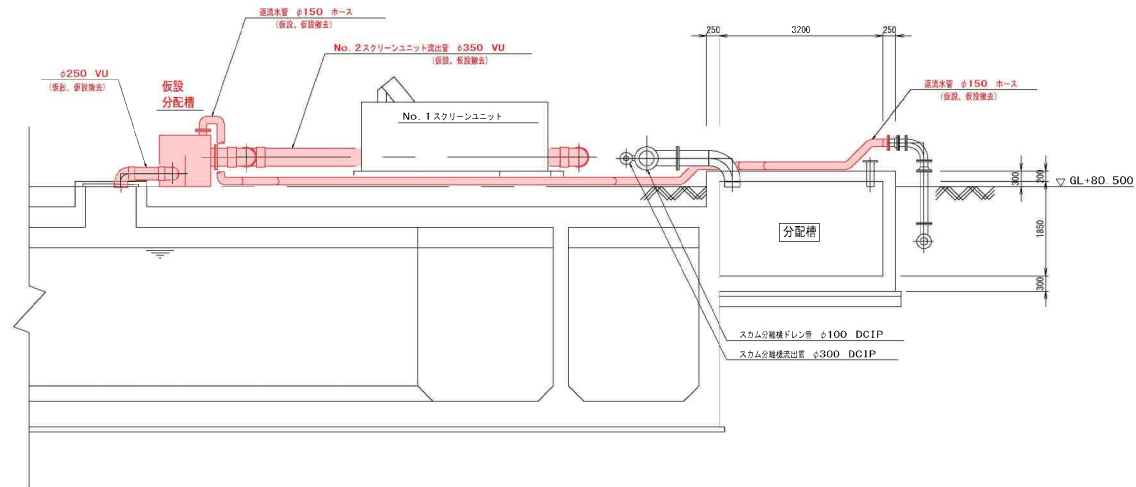
令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改修工事	
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)	
図面名	分配槽断面図(一時撤去・復旧) 図面番号
尺度	1/50 4
加東市	



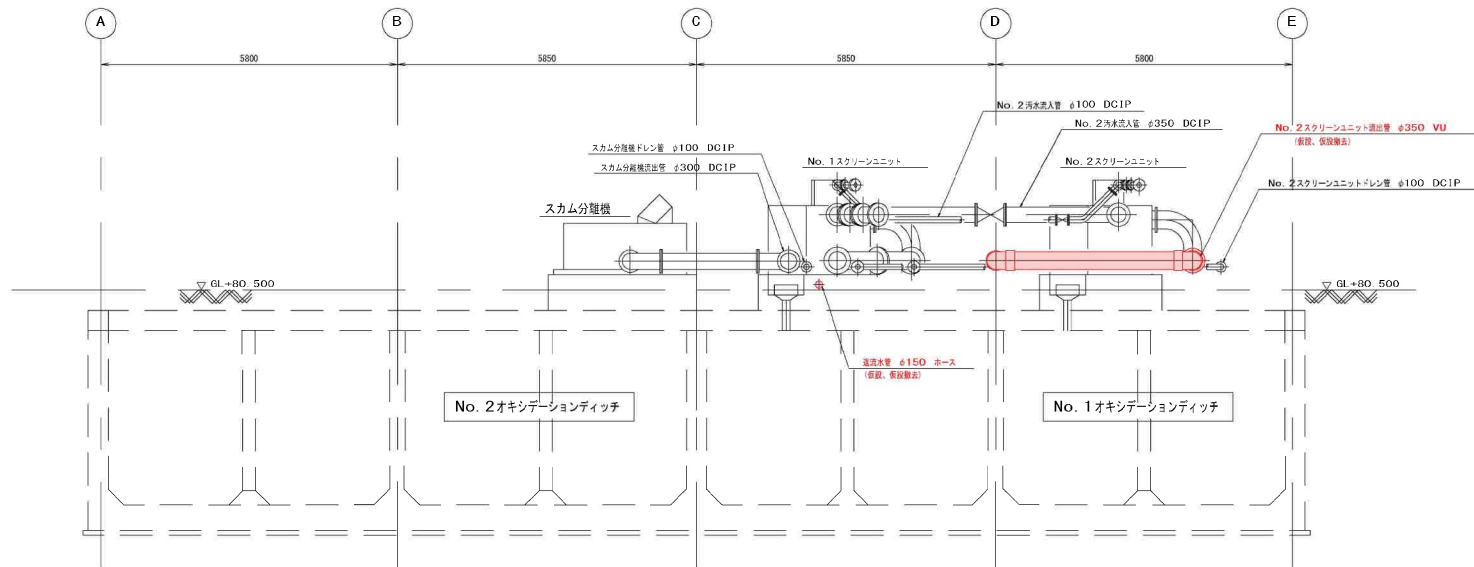
平面図

注記：赤色が今回施工範囲を示す。

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	分配槽平面図(仮設・撤去)	図面番号
尺度	1/50	5 / 14
加東市		



A - A 断面図

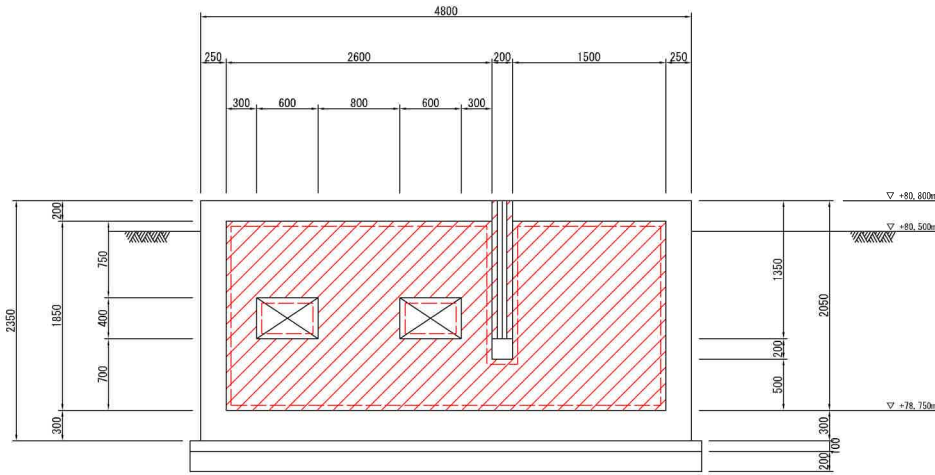


B - B 断面図

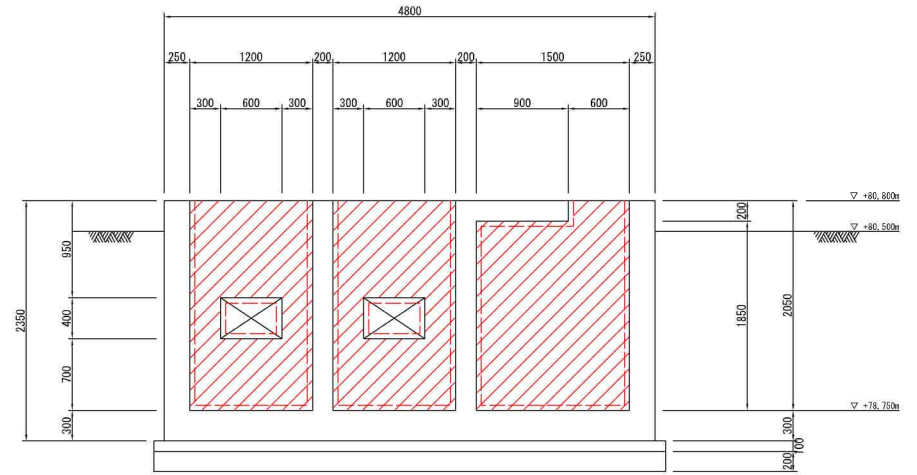
注記： ■ 赤色が今回施工範囲を示す。

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事	
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)	
図面名	分配槽仮設断面図(仮設・撤去) 図面番号 6 14
尺度	1/50
加東市	

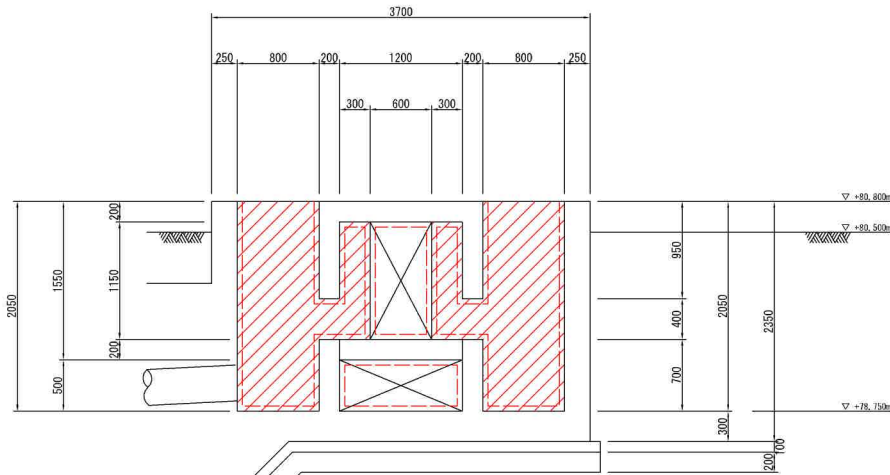
劣化部除去工図(2) S=1:25



A-A 断面図



B-B 断面図



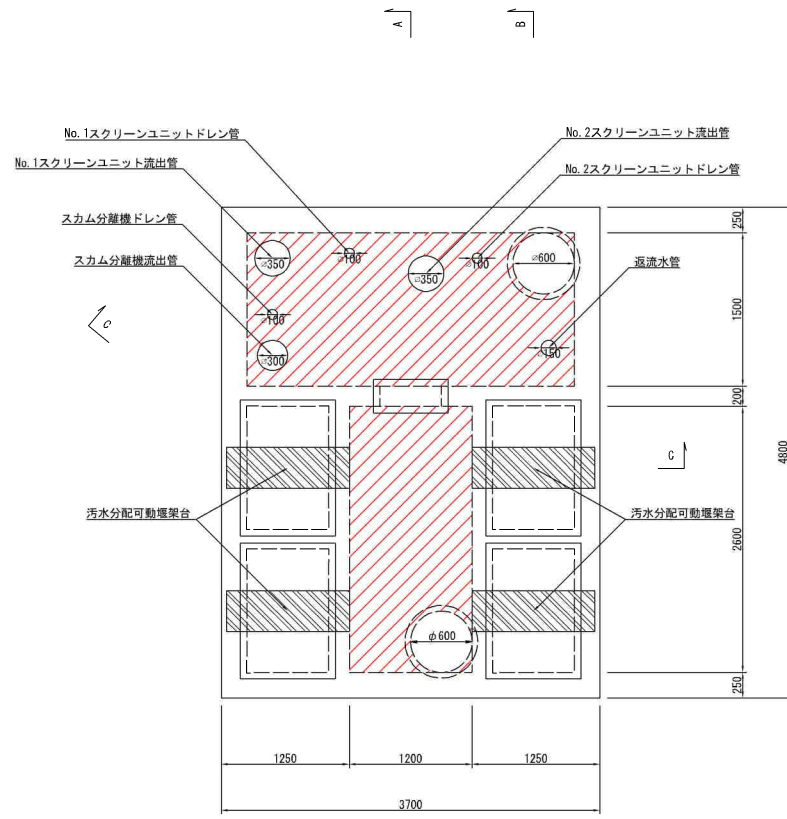
C-C 断面図

凡例

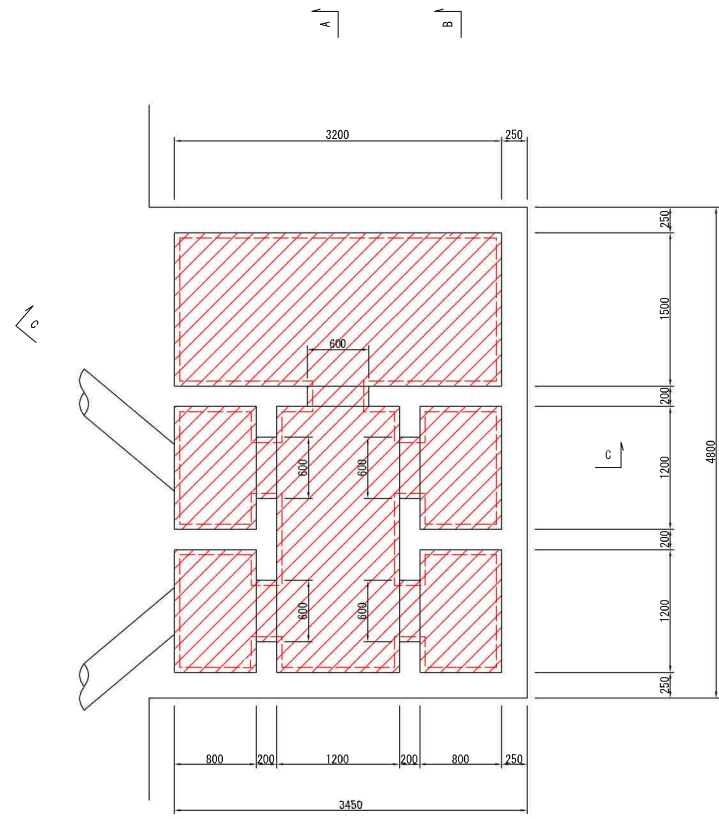
- : 劣化部除去・断面修復範囲 (底板)
- : 劣化部除去・断面修復範囲 (頂版・底版・壁)

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改善工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	劣化部除去工図(2)	図面番号
尺度	1/25	8 / 14
加東市		

防食被覆工図(1) S=1:25



上部平面図

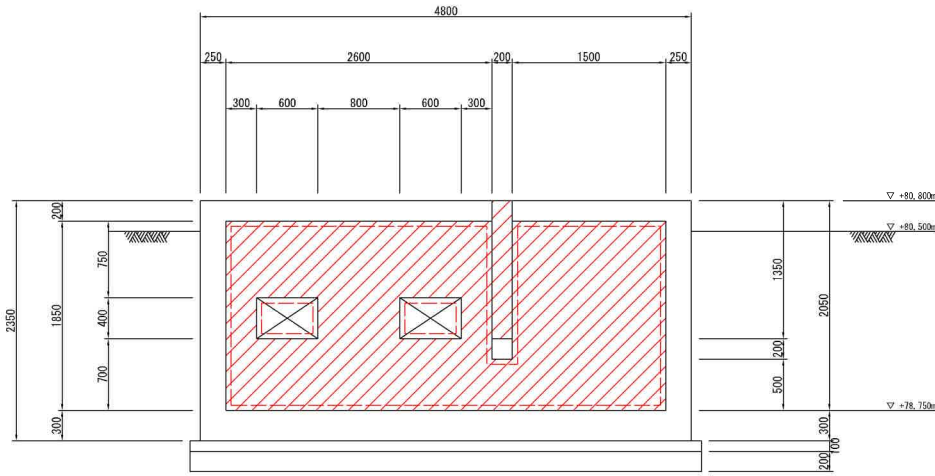


水路部平面図

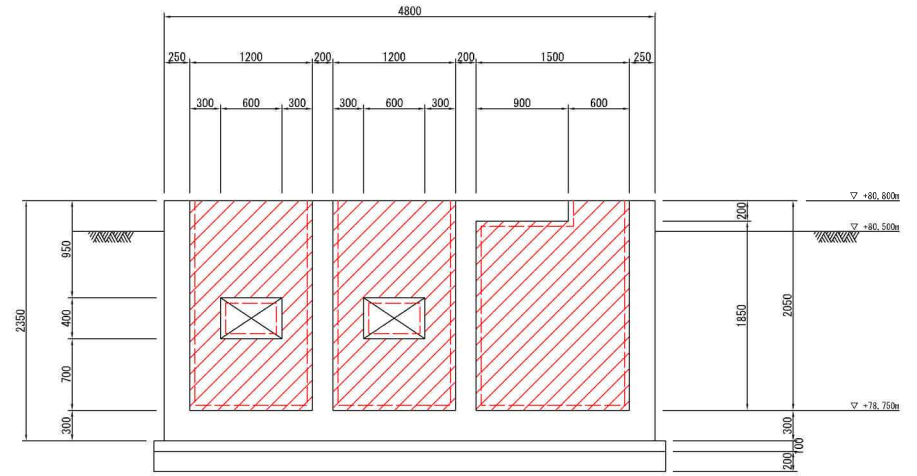
- 凡例
- : 防食被覆対象範囲 (頂版・底板)
 - : 防食被覆対象範囲 (壁)

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	防食被覆工図(1)	図面番号
尺度	1/25	9 / 14
加東市		

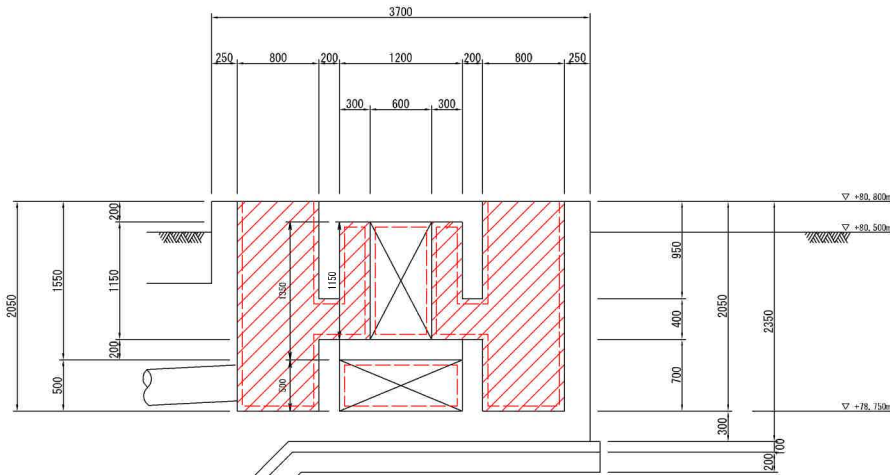
防食被覆工図(2) S=1:25



A-A 断面図



B-B 断面図



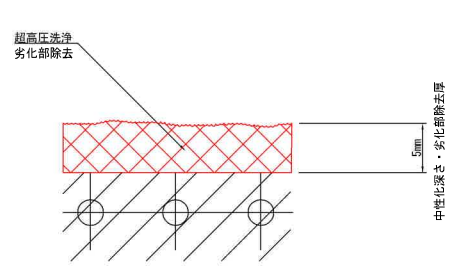
C-C 断面図

凡例

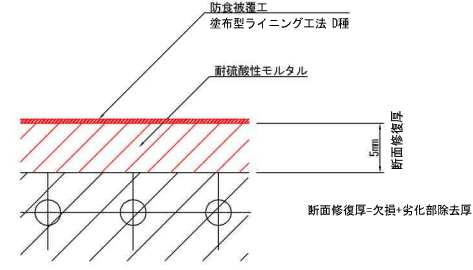
- : 防食被覆対象範囲 (底版)
- : 防食被覆対象範囲 (頂版・底版・壁)

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改善工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	防食被覆工図(2)	図面番号
尺度	1/25	10 / 14
加東市		

劣化部補修・防食被覆詳細図 S=NON



補修前 断面図

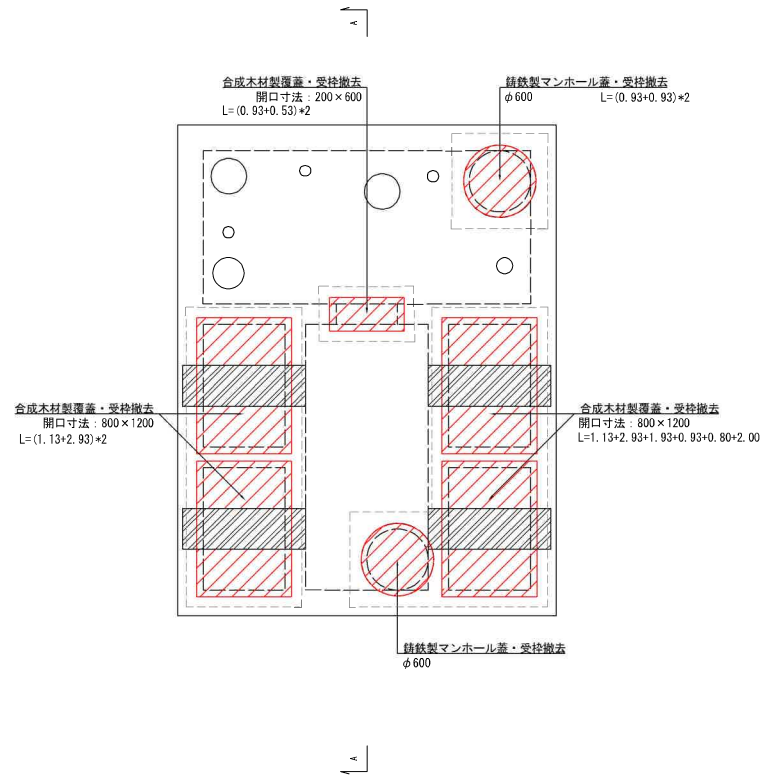


補修後 断面図
(塗布型ライニング工法)

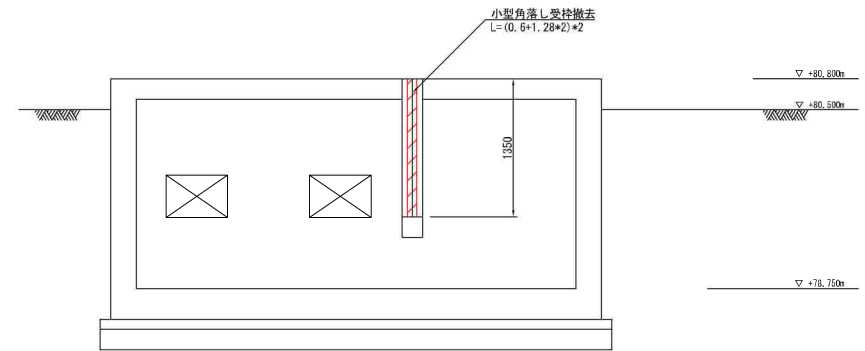
※着工前調査を行い、劣化除去厚および断面修復厚を決定すること。

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改善工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	劣化部補修・防食被覆詳細図	図面番号
尺度	NON	11 / 14
加東市		

付帯設備撤去図 S=1:25



上部平面図



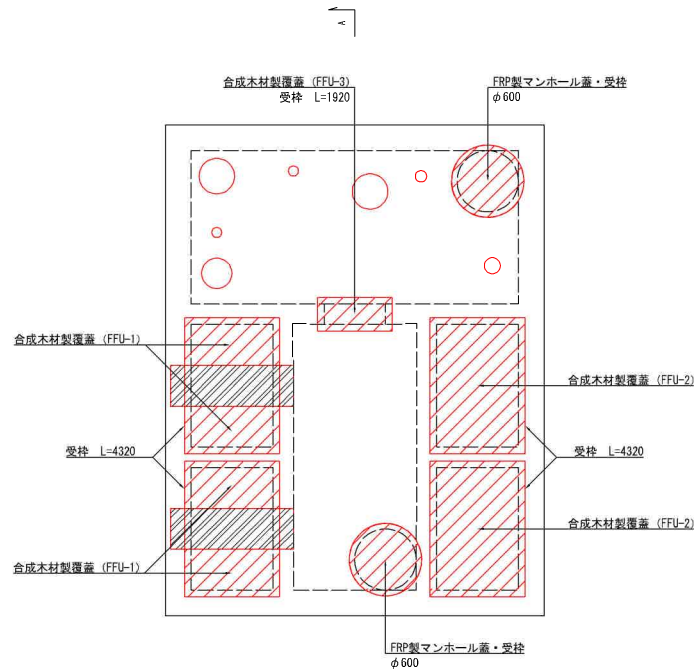
A-A 断面図

凡例

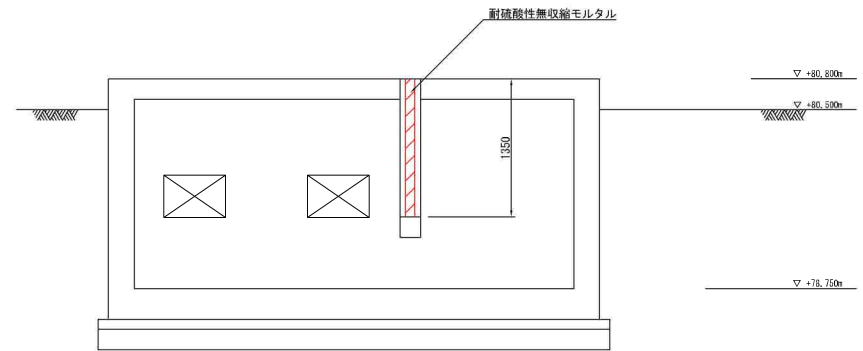
- 撤去対象
- :コンクリートカット工

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	付帯設備撤去図	図面番号
尺度	1/25	12 / 14
加東市		

付帯設備更新図 S=1:25



上部平面図

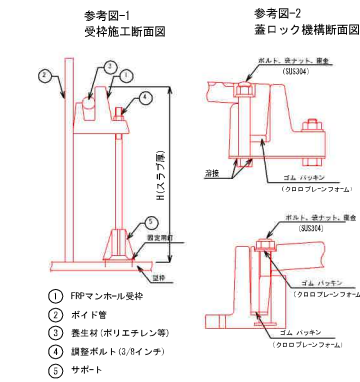
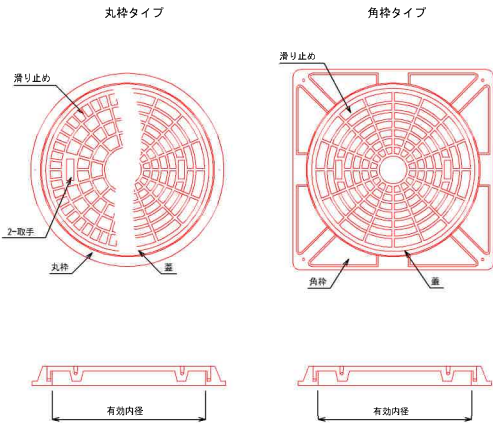


A-A 断面図

凡例
 : 更新対象

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
せせらぎ東条 汚泥分配槽設備改築工事		
加東市 新定 659番地 (せせらぎ東条)		
図面名	付帯設備更新図	図面番号 13
尺度	1/25	14
加東市		

FRP製マンホール蓋



- 設計注意事項
- 1) 安全荷重は繰返し荷重の4分の1以下とする。
 - 2) 荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。

仕様

- 1) 受枠施工前としてはホイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調整ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。
- 2) 本施工方式以外の方法による可とする。
- 3) FRP (強化プラスチック) 又はFRTP (荷重性強化プラスチック) とする。
- 4) 簡易防水用、簡易防臭用の場合は、パッキンおよびロック機構を内蔵したものとす。
- 5) 荷重表示 (N, T) をする。

特記事項

- 1) 蓋の型式
- 2) 有効内径
- 3) 蓋のロック機能の有無

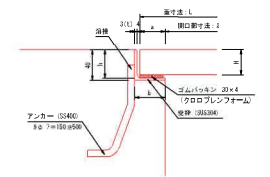
FRP製マンホール蓋 型式選定表 (参考)

寸法呼称	有効内径 (mm)	安全荷重種類呼称	安全荷重 (kN)
300型	300	500k	5.0
		1000k	15.0
600型	600	500k	5.0
		1500k	15.0
700型	700	1500k	15.0
900型	900	1500k	15.0

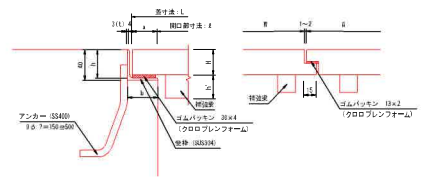
注) 寸法呼称および安全荷重はSHASE-8208 (空気調和・衛生工学会規格) に準拠する。

合成木材蓋 (単板蓋タイプ)

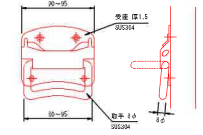
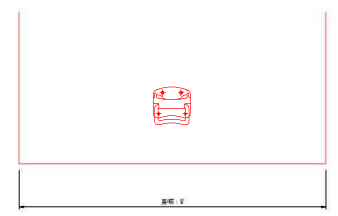
蓋形式: タイプI



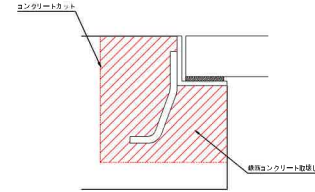
蓋形式: タイプII



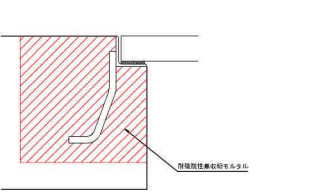
回転式取手詳細図



既設受枠撤去標準図



受枠更新標準図



合成木材蓋 (単板蓋) 形式選定表 (参考)

タイプ区分	蓋形式 (L×W×H)	通径開口中心 l (mm)	受枠寸法 (mm)				自重 (kg/㎡)	
			a	b	h	t		
I	① (~1066) × 600 × 33.5	~1000	33	37	-	40	3	20
	② (1067~1266) × 600 × 33.5	1001~1200	33	37	-	40	3	22
II	① (1267~1666) × 600 × 33.5	1201~1600	33	37	40	40	3	23
	② (1667~2066) × 600 × 33.5	1601~2000	33	37	60	40	3	24

仕様

- 1) 受枠は、アンカー筋 (φ9mm) で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については500mm以内の間隔とする。
- 2) 蓋には荷重表示 (N, T) を行う。
- 3) 蓋にはすべり止め加工を行う。

特記事項

- 1) 蓋の選定は、形式選定表による。
- 2) 合成木材は、ガラス繊維強化繊維強化ポリアクリル樹脂製の素材を示す。

記号	取付場所	ℓ	w	L	W	h	H	a	分割数	箇所数	蓋形式
FFU-1	分配槽	900	1200	866	433	37	33.5	33	-	4	タイプI
FFU-2	分配槽	900	1200	866	1266	37	33.5	33	3	2	タイプI
FFU-3	分配槽	600	200	666	266	37	33.5	33	-	1	タイプII

- 注
- 1) 受枠寸法の h にはパッキン厚を含む。
 - 2) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300~800mmとする。
 - 3) 受枠がL50×50×4の場合、蓋裏面にスペーサー (45×9) を接着して対応する。
 - 4) タイプIIについては、補強梁付きも可能とする。(タイプI参照)

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用範囲

- (1) 本仕様書は、令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 せせらぎ東条 汚泥分配槽改築工事により発注する仮設工事、及び土木工事に適用する。
- (2) 本特記仕様書に記載されていない事項については、設計書、図面及び兵庫県土木工事共通仕様書土木請負工事必携（以下「共通仕様書」という。）のほか、「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル 日本下水道事業団」によるものとする。
- (3) 設計書、図面及び特記仕様書に記載された事項は、この仕様書を優先するものとする。
- (4) 受注者は、設計書、図面及び特記仕様書との間に相違がある場合には、監督員に確認して指示を受けなければならない。

第2節 共通事項

- (1) 作業時間
工事の作業時間は、原則として監督員の就労時間とする。ただし、休日又は前記時間以外に作業を行う場合は、監督員の了承を得なければならない。
- (2) 運転管理業者との調整
同一敷地内の運転管理業者と工程、取合い及び安全管理等について常に十分な調整を図らなければならない。
- (3) 事前調査
工事着手に先立ち、現地の状況、関連工事等について綿密な事前調査を行い十分把握のうえ施工しなければならない。
- (4) 産業廃棄物の処理
本工事にて発生する産業廃棄物は指定処分地へ適切に運搬すること。

第2章 工事内容

第1節 鋼製加工品

鋼製加工品類及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	材質	数量	備考
1	仮設分配槽	屋外	図面による	SS400	1式	屋内

第2節 劣化部除去工(既設コンクリート躯体表面処理)

- ・ 劣化部除去工は、コンクリート表面の劣化部を除去し、健全なコンクリート面を得ることを目的とする。
- ・ 劣化部除去工の施工範囲は図面による。
- ・ 劣化部除去深さを確定させるために、着工前調査を行う。
- ・ 劣化部の除去方法については、超高压水洗浄(200MPa 程度)による処理を標準とする。要求性能は、下表の通りとする。

表 2-1 劣化部除去工 要求性能

項目		判定基準	検査方法
劣化部除去工	コンクリートの外観状態	骨材のゆるみ・浮きがないこと。	目視
	コンクリートの健全度	フェノールフタレインが赤色に呈色すること。	フェノールフタレイン法

※ひび割れ・漏水等の欠陥が確認された場合は、防食被覆の施工に支障の無いよう適切に処理をすること。

(1) 断面修復工

- ・ 劣化部除去にて除去した部分の修正を行う。使用材料については表 2-2 断面修復用モルタル品質規格(JS 指針適合)を使用し、保証範疇を明確にするために、採用する防食被覆工法と同一メーカーもしくは同一協会に所属した断面修復材料を使用すること。
- ・ 断面修復厚さを確定させるために、着工前調査を行う。
- ・ 断面修復工の施工範囲は図面による。

表 2-2 断面修復用モルタル品質規格

試験項目		規 格
曲げ強度	材齢 3 日	3.0N/mm ² 以上
	材齢 28 日	7.0N/mm ² 以上
圧縮強度	材齢 3 日	25.0N/mm ² 以上
	材齢 28 日	45.0N/mm ² 以上
接着性	材齢 28 日	1.50N/mm ² 以上
長さ変化率	材齢 28 日	-0.1%以上
耐硫酸性		5%の硫酸水溶液に 28 日間浸漬した時の重量変化率が±10%以内であること。
硫酸浸透深さ		5%の硫酸水溶液に 28 日間浸漬した時のフェノールフタレインの非呈色深さが、3.0 mm以下であること。

(2) 防食被覆工

- 防食被覆工は、JS 指針に適合する塗布型ライニング工法とする。品質規格は、表 2-3 の通りとする。

表 2-3 塗布型ライニング工法の品質規格

工法規格		塗布型ライニング工法
耐硫酸性	硫酸水溶液浸せき後の被覆の外観	10%の硫酸水溶液に 60 日間浸漬しても被覆にふくれ、われ、軟化、溶出がないこと。
遮断性	硫黄侵入深さ	10%の硫酸水溶液に 120 日間浸漬した時の硫黄侵入深さが設計厚さに対し 5%以下であること、かつ、100 μm 以下であること。
	透水性	透水量が 0.15g 以下
接着安定性	コンクリートとの一体性	標準状態で 1.50N/mm ² 以上、吸水状態で 1.20N/mm ² 以上とする。
外観性	被覆層の外観	被覆にしわ、むら、剥がれ、割れのないこと。
耐アルカリ性	アルカリ水溶液浸せき後の被覆層の外観	水酸化カルシウム飽和水溶液に、60 日間浸漬しても被覆にふくれ、割れ、軟化、溶出がないこと。

- 防食塗装工の仕様、施工範囲は図面による。
- 防食被覆工法の施工仕様については、表 2-4 の通りとする。

表 2-4 防食被覆工法施工仕様

工程	使用材料・規格等	標準使用量	設計厚
下地処理	(1)劣化部除去工 及び (3) 断面修復工による		
素地調整	エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル	1.0 kg/m ²	—
中塗り①	無溶剤エポキシ樹脂上塗り材	0.5 kg/m ²	1.3 mm以上
中塗り②	無溶剤エポキシ樹脂上塗り材	0.5 kg/m ²	
上塗り①	無溶剤エポキシ樹脂上塗り材	0.5 kg/m ²	
上塗り②	無溶剤エポキシ樹脂上塗り材	0.5 kg/m ²	

(3) 検査

本工事における各段階検査は以下の工程にて行い、検査合格後次工程へ着手することとする。

1) 劣化部除去後の検査

コンクリートの劣化部除去が完了した後、除去後のコンクリート表面の品質について検査を行い、監督職員の確認を受けること。

表 2-5 劣化部除去後の検査項目

検査項目	判定基準	検査方法
コンクリートの健全度	骨材のゆるみ・浮きがないこと ひび割れ・漏水・その他補修工事に支障を及ぼす欠陥がないこと。	目視
劣化部除去後の状態	フェノールフタレインで赤色に呈色すること。	フェノールフタレイン法
コンクリートの表面強度	平均値 1.5N/mm ² 以上かつ最小値 1.2N/mm ² 以上であること。	引張強度試験

2) 断面修復後の検査

施工完了後、専門技術者を立ち合わせ検査を行い、監督職員の確認を受けなければならない。

表 2-6 断面修復後の検査項目

検査項目	判定基準	検査方法
断面修復部の外観状態	浮き・ひび割れ・脆弱部がなく、平滑に仕上がっていること。	目視・打診
	出隅・入隅部の処理（面取り・R 取り）が適切であること。	目視・打診
接着強さ	平均値 1.5N/mm ² 以上かつ最小値 1.2N/mm ² 以上であること。	引張強度試験
施工厚さ	平均値が設計厚さ以上であること。	ノギス等による

3) 防食完了後の検査

施工完了後、専門技術者を立ち合わせ検査を行ない、監督職員の確認を受けなければならない。

表 2-7 防食完了後の検査項目

検査項目	判定基準	検査方法
外観の状態	表面に防食性能を損なう欠陥や塗りむらがなく平滑に仕上がっていること。	目視による
	ピンホールがないこと。	ピンホール試験 または目視
	樹脂硬化不良がないこと。	指触・打音による
接着強さ	3個の試験値の平均値が1.5N/mm ² 以上。 ただし、いずれの試験値も1.2N/mm ² 以下のものがあるてはならない。	引張強度試験による
防食被覆層の施工厚さ	3個の試験値の平均値が防食製造業者の定める設計厚さ以上。ただし、いずれの試験値も2/3以下のものがあるてはならない。	ライトルーペ等による

(4) 専門技術者の選出

専門技術者の資格要件は、下表の専門技術者の資格要件を満たすものから選出される。

表 2-8 専門技術者の資格要件

専門技術者の資格要件
日本コンクリート防食協会が認定するコンクリート防食技士

(5) 保証

防食被覆工事の保証期間は10年間とし、元請業者・防食被覆工事施工業者・材料製造業者の3者連名にて保証を行うこと。各業者の保証範囲は以下の表2-9の通りとする。

表 2-9 各業者の保証範囲

保証業者	保証範囲
元請業者	防食被覆工事全てに対し保証を行うこと。
防食被覆工施工業者	防食被覆工事の施工に対し保証を行うこと。
材料製造業者	防食被覆工法の材料に対し保証を行うこと。

※保証範囲を明確にするため防食被覆材（裏込め充填材）は同一メーカーまたは同一工法協会のものを選定すること。

第3章 再資源化

再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻	三幸開発	兵庫県小野市下来住町 667-8
濁水 (カッター汚水)	大栄環境 (株)	兵庫県三木市口吉川町 吉祥寺 132-8

※上記は、積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合でも、設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項はこの限りでない。

第4章 週休2日

- (1) 本工事は原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板に明記すること。（受注者は契約後、週休2日を反映した施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
- (2) 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は1ヶ月あたり2日を上限として土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
- (3) 毎月、監督員に翌月の現場閉所日を記載した「休日取得計画」を提出すること。
- (4) 現場閉所日の振替を行う場合、工事打合簿により、その理由と振り替える日を事前に監督員に連絡すること。
- (5) 毎月、監督員に前月の現場閉所の状況を「休日取得実績報告書」により報告すること。
- (6) 現場稼働中の工期〔工事着手前（現場測量等）、年末年始休暇6日間、夏期休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）の達成状況（平日振替日を含む）の確認のため、受注者は「工事履行報告書」を提出すること。
- (7) 労務費等の補正については当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金を減額変更する。また、月単位の週休2日に満たないものは完全週休2日の補正係数を除し、請負代金を減額変更する。
- (8) 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内勤業務や他の現場に従事することを制限しない。ただし専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。
- (9) 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交替制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上、変更することができる。ただし、工事着手後の変更は認めない。

(10) 下請企業に対し週休2日の取り組みにあたり必要な事項について協力を求めること。

(11) 受注者は週休2日制度対象工事であることを工事看板に明記すること。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し小数点以下を四捨五入する。

〈労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正〉

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
機械経費（賃料）	—	—
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第5章 その他

(1) 工期について

工期は完全週休2日制を採用しているため土日は含んでいない。

(2) その他

施工範囲の変更に伴う数量の異同は、現地調査後に作成した展開図を基に監督員と協議を行い、その結果により設計変更の対象とする。また、不陸整正に伴う補足材、クラック対策等も同様とする。

なお、本仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。

(3) 工事看板は下図を標準とする。

